



NEXCO 湯沢作業所管内現場見学会

9月18日（水）～19日（木）に若手技術者30名の参加による現場見学会を開催しました。

今回の見学会は、今年4月に湯沢作業所に転勤した春日所長が業務の合間を縫って、NEXCO と調整した結果、NEXCO のご理解とご協力を得て実施することができました。

当日は、8時に南浦和駅集合で大型バスに乗り込み、関越道経由で湯沢に向かいました。出発した時の東京の天気は晴天でしたが、北に行くにつれ雲が多くなり、六日町 IC に到着した時には、完全な曇り空になっていました。

今回の工事箇所の見学現場は、3か所。体験型見学箇所は、1か所です。最初の見学は、当社の施工管理員が管理する「六日町地区函渠工事」です。国土交通省の委託工事で地方高規格道路の八箇峠道路の新設に伴い六日町 IC の盛土の下に函渠を推進する工事です。延長は、R&C 工法と ESA 工法を併せた工法で日本最長の86.5m。通行止めをしない工事となります。小川課長から工法を詳細に説明いただきました。函渠を作成する過程で箱型ルーフを使って作業しますが、人が入り手動で行うこともあり、その貴重な体験もできました。現場では、本体の推進工事に先立ち、地盤を固める薬液注入をしていました。見学者も多いようです。次に行ったのが、関越トンネルの電源設備、排気・換気設備の見学と万太郎立坑の登頂です。3班に分かれ各種設備について付随の3人の副所長から説明を受けました。立坑は、関越トンネル内の排気と吸気のため谷川岳の谷間に突出した巨大煙突です。高さ180m。そこを四角い螺旋階段約700段をひたすら登る試練の体験型見学です。予想にたがわず全員無事に登頂することができました。登頂先は標高865mの山の上。大雨でしたがもちろん全員で記念写真も。

今回の宿泊場所は、江戸川区が保有する塩沢江戸川荘。予定よりも1時間遅く着いたため、温泉にも入らずすぐに夕食。会場は当社だけで、気兼ねなく親交を温めながら楽しい夕食を取ることができました。施設にはカラオケ・卓球などもあり各課を超えて交流を深めることもできました。

2日目は、夜中から大雨。最初の現場は、小出 IC 付近の盛り土の擁壁現場。この頃になると雨も小降りになり。高さ14mの逆T型擁壁が長年の間隙水圧の影響で根元から折れたものを修復する工事です。現場では、白鳥社長の高校・大学の同級生の方から説明を受けました。親杭方式とアースアンカーで崩落を防いでいる箇所を新たに擁壁を増厚して構築しなおす工事です。

2日にわたる今回の現場見学会も無事に終わることができました。

お世話になった NEXCO 湯沢管理事務所のみなさん、当社湯沢作業所の皆さん、
ありがとうございました。



現場見学会の様子

六日町
地区函渠工事



概要説明



隣接する函渠
は供用済

裏側到達点



ランチタイム

魚沼産のご飯はお
かわり自由(^-^)



新潟名物 へぎそば



関越トンネル見学



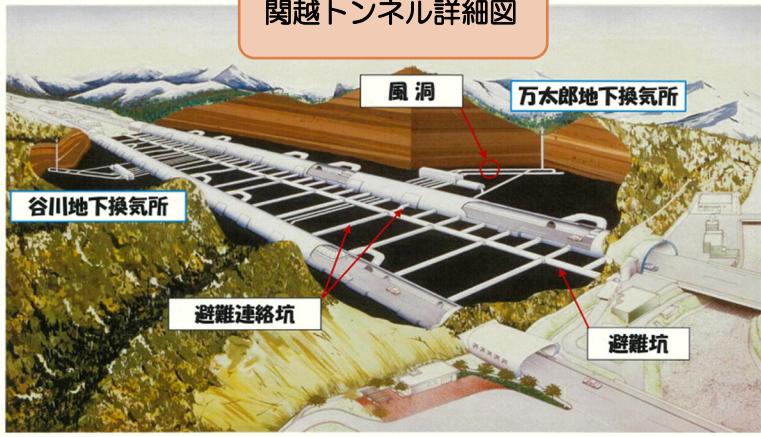
避難用トンネルから進入



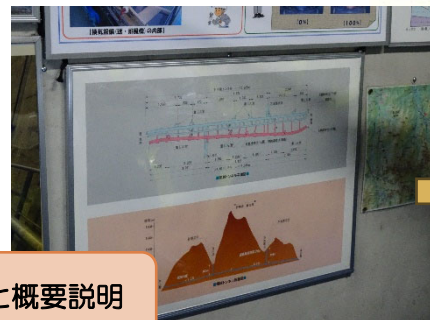
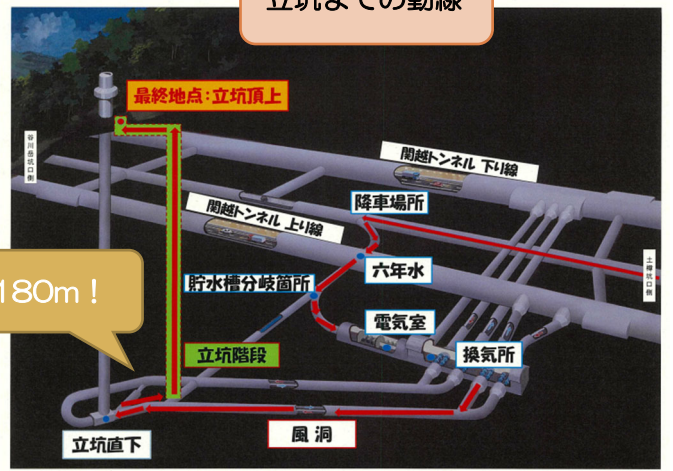
谷川岳の湧水で
水分補給

スタート

関越トンネル詳細図



立坑までの動線



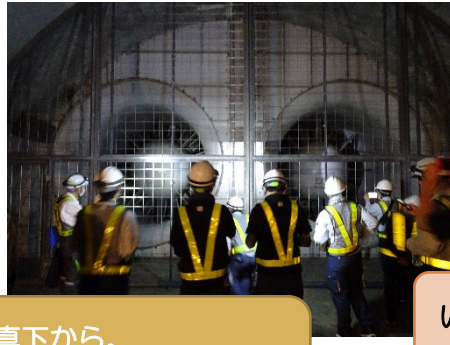
変電設備と概要説明



換気所



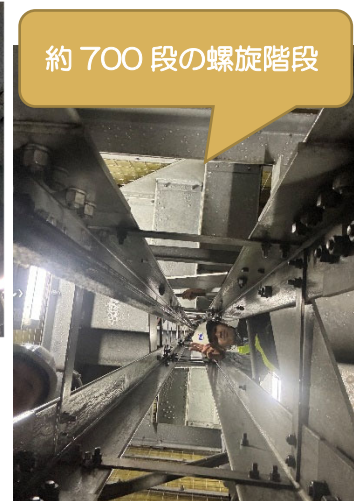
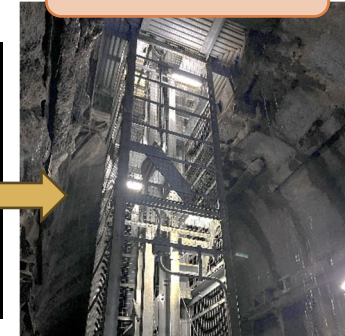
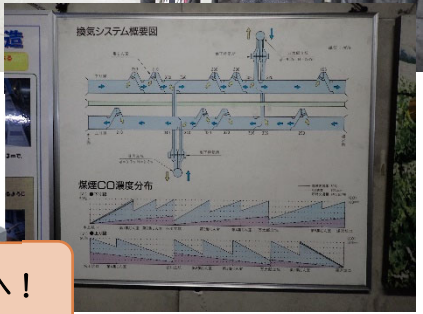
風洞



真下から。半月に見える立坑頂上



いざ立坑登頂へ!



約 700 段の螺旋階段

ゴール

疲れを知らない
ダブルピース(^_^)



下が見えないほど
とても高い(T_T)



宿泊施設
塩沢江戸川荘

乾杯！



春日さんからメッセージ

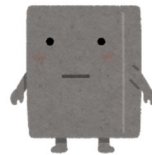


小出地区
のり面復旧工事

概要説明。社長のご友人
もいらっしゃいます



水を集める大きな井
戸（集水井）を設置



疲れた体を美味しい夜ごはん
で癒し、カラオケ・卓球・晩餐会
と楽しみました。

崩れたのり面の復旧工事

